

和将窯 山本和哉さんに 聞きました

ふるさと納税の返礼品としても好評の和将窯、山本さんに
仕事のことや町のことを聞きました。



山本和哉さん

陶芸家を目指した経緯は

子どもの頃から絵を描く事が好きだった。
父親が始めた砥部焼の土に触れてから、作る楽しさがだんだんと強くなってきて、今では描くよりも作る方の楽しさが強くなってきたと感じる。

仕事のやりがい

やはり作る楽しさ。
自分が考えた形で良いものが出ると嬉しい。
また、その作品をいいと言ってくれば、もっと良い物を作りたいと思う。



苦労や悩みは

作る事に対してはない。
度々ひとつの物に集中してしまい、他の物の制作時間がパンクしそうになる時は焦る。



今後どのようなことに チャレンジしていきたいか

器の使いやすさや見た目の美しさ、可愛さ、それぞれに特化した作品を突き詰めていきたい。



松前町のよいところは

住みやすい町だと思う。



どこでも目を引くエチュード模様。常に新しい作品にチャレンジして、皆に癒しを！

